

質 問 順 位	13	質 問 者	渡 邊 龍 之 議員	
件 名	項 目	要 旨	メ	モ
1. 市長の基本姿勢	1. 2期目の成果と課題について	1. 市長として2期目も残すところ4か月余りとなります。滝川市長として並々ならぬ思いで2期目のスタートを切り、いろいろな施策を講じ、確実に事業に取り組んでいると認識をしています。そこで市民の福祉向上を念頭に市政運営に努めていますが、市長として各施策が市民生活への効果があったと思われる事業、また現状において課題・検討があるとすればその見解を伺います。		
	2. 3期目の立起表明について	1. 11月1日に市政報告会にて3期目を目指すことを表明いたしました。市政運営の舵取りを実施してきた中での対応であると考えます。まちづくりにおいては、まだ道半ばであることも理解できます。市長として政策の推進を図る上で重要な点は、財政課題が重荷となっていることは明白です。現在、財政健全化計画を進めていますが、この影響で市役所職員全体が硬直化しているとも感じられています。しかし、厳しい苦しい財政を立て直すためには、市長としての実行力が大いに発揮されることが重要と考えますが、市長の見解を伺います。		
	3. 基金の考え方について	1. 基金の性格からくみ取ることは、将来の支出や税収の急減に備えたもの、特定目的に沿って財産を維持し、資金を積み立てるものと考えています。 滝川市においては大変厳しい予算編成が続いています。国からの普通交付税が減少する中で、一般財源を見出すのは大変なものと察します。以前にも基金については質問させていただいておりますが、事務事業の見直し、公共施設のあり方等あらゆる見直しを図る中でも財源が不足となり、基金からの繰り入れがなければ予算が成立しない現状です。ただ、明るい話題として、ふるさと納税が好調であるのが救いではありますが、基金からの繰り入れをしなくても予算編成ができるために必要な事項として考えられる取り組みがあれば伺います。		

質 問 順 位	13	質 問 者	渡 邊 龍 之 議員	
件 名	項 目	要 旨		メ モ
2. 市政運営	1. 組織の一体化について	1. 少子高齢化が進む中での取り組みは、それぞれ所管によって事業展開が図られています。高齢化対策を取っても包括支援の部分であったり、町内会の活動において高齢者対策が取り上げられたりとなっているのが現状です。縦割的な組織運営ではなく横断的な対応が求められるのは自然と考えるところです。窓口対応や電話等での対応一つで情報が共有されるべきと考えますが、見解を伺います。		